



H30(2018)年 8月・9月 例会ご案内

今月は、8月の夏季公開講座と9月のバスツアーの案内(予告)を同時にお届けします。

8 月 例 会 ご 案 内

(第39回 夏 季 公 開 講 演 会)

主催:平群史蹟を守る会 共催:平群町教育委員会

日 時 平成30年8月5日(日曜日)

受付: 午 後 1:00~

講演: // 1:30~3:30頃

会場: 平群町中央公民館 大ホール(一階)

講 演

演 題 「鑑真和上と長屋王」

講 師 帝塚山大学文学部 文化創造学科教授
西山 厚 先生

苦難の末に来日し、正しい授戒の法を伝えた鑑真和上と、その渡航を決意させた「風月同天」の詩の作者長屋王について語って頂きます。暑い時期ですが会員の皆様はもちろん、お知り合いの方にもお誘いの上、ご来場下さい。

今年も講演会終了後に平群町観光ボランティアガイドの会による長屋王墓と吉備内親王墓の現地見学会を予定しています。ご参加下さい。

中央公民館 → 現地 → 近鉄平群駅前

- ・ 距離: 約 2 km、所要時間: 約 1 時間
- ・ 解散場所: 近鉄平群駅前

尚、講演会当日[8月5日(日)]は、午前9時30分より役員で会場準備をいたします。つきましてはご都合のつく幹事様及び会員様のお手伝いをよろしくお願い致します。

各地区の幹事様へお願い

講演会ポスターとPR用の案内チラシを用意しました。ご近所や、お知り合いの方へ誘いくださるようお願いいたします。

各地区の会員様への文章配布等、いつもお世話になっています。今年も、恒例となりました夏季公開講演会の季節が訪れました。お陰さまで、今回はその39回目となります。お手数ですが、毎月のように会員様宛ての[例会案内]各一部とともに同封の[講演の案内チラシ]を、2～3部程度ずつ配布していただきますようお願いいたします。

また、「講演会のポスター」も作成しましたので、地域の掲示板等、目立つところに掲示していただきますよう併せてお願い申し上げます。

9 月 例 会 ご 案 内(予告) (バスツアー：「かぎろひ」の里 宇陀市を訪ねる)

日 時 平成 30 年 9 月 5 日(水曜日) (雨天決行です)

今年のバスツアーは古代・中世・近世それぞれの歴史が息づく松山地区を中心とした宇陀市を訪れます。詳しくは、会報 9 月号でお知らせします。皆様の参加をお願いします。

◆行 程

平群町中央公民館(9時出発)⇒ 法隆寺 IC ⇒<西名阪自動車道・名阪国道> ⇒ 福住 IC
⇒ 宇陀水分神社 ⇒ 道の駅宇陀路大宇陀…まちづくりセンター「千軒舎」…神楽岡神社…今阪屋(昼食)……(宇陀松山城)…… 松山西口関門…阿木神社…万葉公園
↓ 大宇陀歴史文化館 薬の館 ↓
…阿騎野・人麻呂公園…(大願寺)…道の駅宇陀路大宇陀⇒ 福住 IC⇒<西名阪自動車道・名阪国道>⇒(途中王寺駅周辺・椿井周辺に停車)⇒平群町中央公民館(18時頃帰着予定)

※宇陀松山城は希望者のみ参加とします。(健脚向き)

◆費 用:一人 4,500円(40名)～5,000円(35名)

◆参加申込み:8月18日(土)～8月31日(金)……予 定

7 月 例 会 報 告 (7月12日(日))

～探訪平群 平 群 野 を 歩 く ⑫～

西日本豪雨で実施が危ぶまれた7月例会であったが、当日の降水確率が30%になり、予定通り実施された。

今回もあすのす平群(観光文化交流館／町立図書館)と「平群史蹟を守る会」の共同企画、平群町観光ボランティアガイドの会の案内で実施された。

集合場所の中央公民館で清水さんから道詮律師ゆかりの「道詮道」について説明を聞いた後出発。最初に北福貴地藏堂(庚申碑)に着いた。ここでは森さんから、石仏と庚申信仰について説明があった。



中央公民館 出発の挨拶

次は法隆寺夢殿の中興再建を果たし、晩年に起居された「普門院跡」に着き、山西さんから道詮律師の生涯と本尊の聖観音立像について、岡村さんからは九州から取り寄せた「クマカシの木」について話があった。その後、前日までの雨で滑りやすくなった山道を下り、富貴寺跡(白山 神社)に参った。弥勒堂の前に集まり、山西さんから、日本古来の神道と伝来仏教との関係について、また、この辺りが「興福寺領福貴寺庄」であり、戦国武将嶋氏の出発地であるとの話があった。

道詮律師供養墓をお参りした後、田中さんの説明で福貴弘法井戸、森垣内おかげ灯籠を巡って地藏寺に着く。ここでは中川さんからかつては福貴寺の塔頭の1つであったことと、今は融通念仏宗と寺の起源の説明があった。栗坪おかげ灯籠は田中さん、若井井戸は中川さんの説明の後、中央公園でトイレ休憩をとった。

黒元橋では道詮、聖徳太子も通った交通の要衝(森さん)、椿井橋の道標前では平群にあった楽人領とそれを束ねた下河原氏の話、峨瀬溪谷ではガセとは険しい谷の意(中川さん)、道詮律師が増水で川止めにあった橋と言われる念仏橋(森さん)の各説明の後、公園で昼食タイムに入った。

午後は聖徳太子ゆかりの鹿塚、コの字型に立派な切石が残る神代古墳を見学した後、龍田大社より祭神を勧請したとも言われる龍田神社に参った。(中川さん)

住宅地の東斜面にある甲塚古墳と今は住宅地になり消滅した3基の御坊山古墳群の解説の後、藤ノ木古墳では出土した馬具をはじめ数々の宝物の紹介があった。また、法隆寺西にある春日古墳は「ミュー粒子と言う放射線透視により内部に石室と見られる空洞が発見された」との紹介があった。(以上 中西さん)



ゴール 法隆寺・三経院横で益田さんの説明風景

折からの蒸し暑い天候に疲れ果て、夏安居^{げあんご}に通った道詮律師の偉大さを体感しながらゴールの法隆寺・三経院の周りに全員座り込み、益田さんの法隆寺の歴史、夏安居について説明を受けた。

今回も説明をしていただいた平群町観光ボランティアガイドの会の皆様にお礼申し上げます。

参加者：一般参加6名、ボランティアガイドの会7名、あすのす平群2名、史蹟を守る会18名 合計33名]

史 跡 整 備 報 告

梅雨明け前の6月25日(月)に剣上塚古墳の整備作業を行いました。当日は今年初の猛暑日(奈良市33.6℃)の中、教育委員会職員が事前に刈った草を集め搬出しました。その結果、墳頂部への見学路がきれいに整備されました。お疲れ様でした。

[作業時間午後1時～3時 参加者7名]



橿井城第4次発掘調査報告会模様

文化部

平成30年6月19日平群中央公民館に於いて、「橿井城第4次発掘調査報告会」が開催されました。平群町教育委員会葛本隆将学芸員から以下の報告がありました。(参加人員15名)



＊調査期間：平成29年12月20日～平成30年3月26日

＊調査内容

- ・北1郭～北4郭の地形測量
- ・北1郭～北3郭の発掘調査(調査区5ヶ所)

＊主な成果

- ・北1郭・・・盛土整地層と小規模な礎石、土塁を確認。遺物が多数発見さ

れ活動の拠点としての建物があつた可能性がある。

・北2郭・・・前年調査した地山の落ち込みは、木橋跡との確認は出来なかった。遺物が少ない。

・北1～2郭・・・地山削り出しによる切岸、石の埋め込み等を確認。

北1～2郭への城内動線の可能性。

・北3郭(副郭)・・・盛土整地層・土塁、礎石的石材を確認。大型の瓦質土器を含め多数の土器が出土。建物があつた可能性もある。大型瓦質土器は今後復元の予定。

・北4郭(主郭)・・・土塁東面に石積みを確認。

*出土した遺物・・・土師器・瓦質土器・陶器・瓦・銅銭等。

*今後の検討課題

・北1郭～2郭、2～3郭を結ぶ城内動線の確認。

・北1郭の機能の確認(比較的密な遺物の散布、小規模建物の存在等)

・北3郭の造成状況の確認(盛土整地と石材配置の同時性)

以 上

★ 会員の皆様にお願い ★

新会員募集にご協力下さい

会員数減少に歯止めをかけるべく新会員募集をしています。

お知り合い、友人に入会のお誘いをして頂くようにお願いします。

入会案内・入会申込書は各役員にお申し出下さい。

平群史蹟を守る会